

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

兵庫県宝塚市 市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	その他
経営形態	診療科数	DPG対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	26	対象	透I 訓	救 臨 災 地 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
234,349	30,715	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

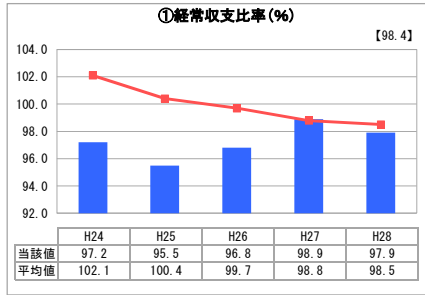
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
436	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	436
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
391	-	391

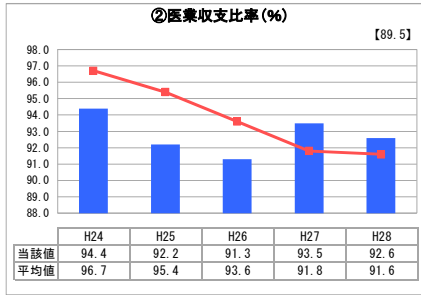
**グラフ凡例**

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

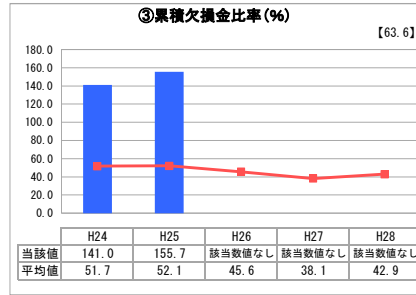
## 1. 経営の健全性・効率性



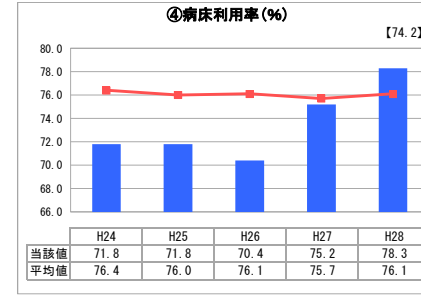
「経常損益」



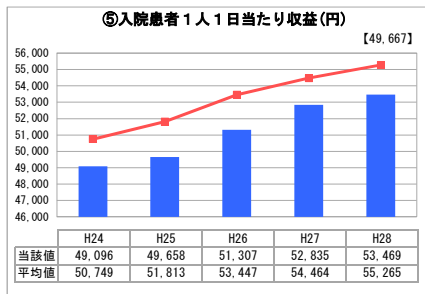
「医業損益」



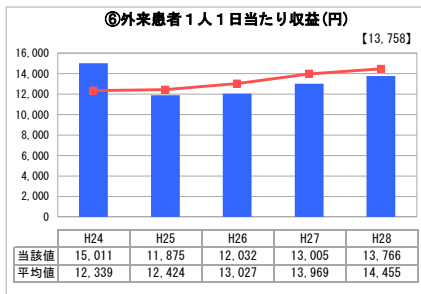
「累積欠損」



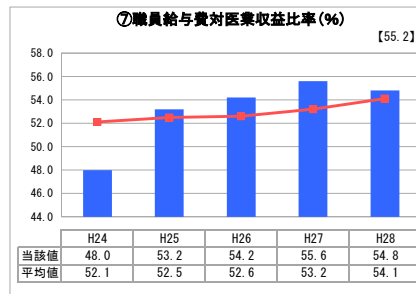
「施設の効率性」



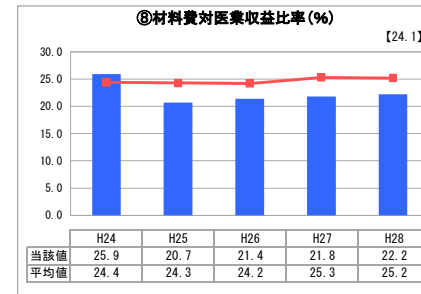
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

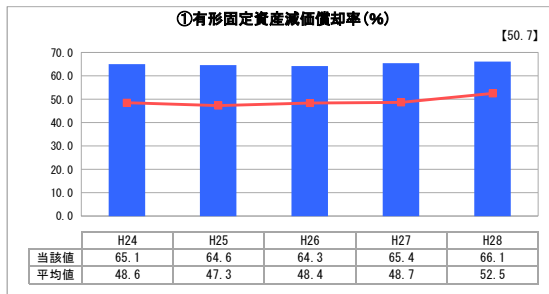


「費用の効率性①」

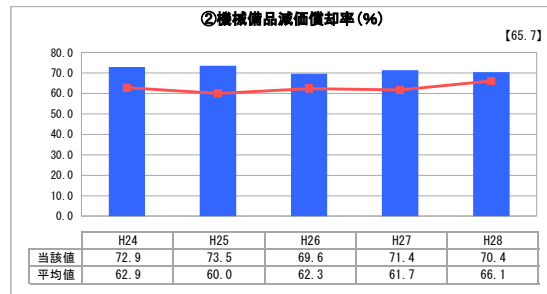


「費用の効率性②」

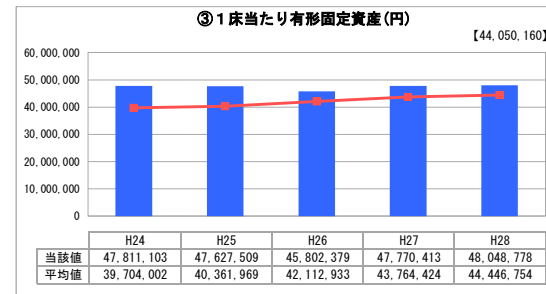
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

## I 地域において担っている役割

高齢化がますます進行すると見込まれる中、市民が安心して暮らしていけるよう、良質な急性期医療を提供するため、救急受入体制とがん診療体制を強化しています。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

患者1人当たりの収益は、外来・入院とも順調に伸び、病床利用率もH27年7月に、休床していた病棟を救急医療センターとして再稼働したこと、夜間・休日の救急患者受け入れがスムーズになった影響で大きく上昇しました。しかし、退職金制度および共済組合制度の変更により給与費が増加した結果、医業収支比率、経常収支比率共に悪化しました。

累積欠損金比率はゼロであり、今年度は経常収支比率が100%に満たないものの、これまでの病院経営で得た利益が残っており、病院開設以来のトータルでは健全であることを表しています。

### 2. 老朽化の状況について

S59の開院から31年経過しており、償却資産取得価額の75%を占める建物の減価償却が進んでいるため、有形固定資産減価償却率が類似病院平均よりも高くなっていると考えられます。

また、機械備品減価償却率が類似病院平均よりも高いのは、機械備品については、機器故障時に代替機器のレンタル等の対応ができるものは、できる限り延命して使用することで、投資金額の抑制を図っている効果が表れているものと考えられます。

1床当たり有形固定資産が類似病院平均よりも大きいのは、これまでの、病棟の整備等により許可病床数を減じてきたためと考えられます。過去の最大許可病床数は480床で、これと計算すると、43,595,430円となり、類似病院平均以下となります。

### 全体総括

経常収支比率100%を目指して経営改善に努めました。今年度は悪化しました。累積欠損金は、H26年度の会計基準改定時に、過去の市からの補助金で一掃して以来発生していませんが、退職手当組合への負担金額が給付より大幅に多額であったことから資金繰りが悪化しています。

これまでは、資金が不足する都度、一般会計、上下水道局から資金を借り入れて対処してきましたが、負担金額と給付の大小関係が病院とは逆になっている両会計と協力して、給付を超える負担金額を削減する根本的な解決に向けて取り組み中です。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。